



広報 長浜まちなか

■市長へ要望書を提出

「多世代が共に住み集う快適なまち」をめざすため、各連合区からの要望も踏まえた要望書を10月15日に提出しました。以下が主たる要望です。

<重点項目>

1. 中心市街地の活力の維持・増大(人口の減少と若者の流出への対応)
 - ①旧市立長浜図書館跡地の活用
 - ②準防火区域の指定の見直し
 - ③都市計画街路の検証
 - ④空き家対策の推進
 - ⑤豊公園の整備・運用
2. 地域の安全対策(災害に弱いまちの構造と水害への対応)
 - ①中心市街地の防災対策
 - ②米川の治水対策等の推進
3. 地域づくりに向けた持続可能な環境づくり(コミュニティ弱体化への対応)
 - ①長浜まちづくりセンターの指定管理等について
 - ②地域づくり協議会への支援

<一般項目>

1. 道路関係
2. 河川関係
3. 地域自治の活性化
4. 一人暮らし高齢者等の暮らしへの支援

■米川の治水対策の推進・魅力創出 県へ要望書を提出

米川は、密集市街地を流れ、住家が迫る狭い河川のため、護岸のかさ上げや大掛かりな浚渫工事が難しく、たびたび氾濫を起こしてきました。そのため、平成29年に滋賀県、長浜市、地元で構成する「米川治水対策連絡協議会」を発足、遊水地、分岐施設の検討のほか、止水版の設置、浚渫などの対策が進められてきました。しかしながら、昨年8月、集中豪雨による洪水で、止水板を越水し、一部被害が生じ、不安の声も大きく、一刻も早い整備を求めて、**昨年に続き県へ要望書を11月21日に提出**しました。河川の自然再生、利活用に向けた地域の取り組みへの支援・協力についても要望しました。詳細は広報長浜まちなか2月号で。



2024長浜まちなかフェスタ

ご来場ありがとうございました!



★地連ホームページ(右上QRコードから)で、動画をご覧いただけます!★



10月27日(日)さざなみタウンで開催したまちなかフェスタは、約5000人が来場、伝統のふるまい餅をはじめ、新しいイベントも楽しんでいただきました。まちなかフェスタは近隣住民、各種団体、行政、学校などさまざまな組織が一体となって作る、まさに

まちなかを代表する地域行事です。今回は300人を超える方々に、スタッフとして運営に携わっていただきました。関わってくださったみなさんにも改めてお礼申し上げます。

■長浜まちなか活躍びとの表彰(まちなかフェスタ開会式で表彰)

地域ニーズにマッチした地域密着型のボランティア活動に、継続的に取り組まれている個人、団体の功績を表彰するもので、3組の団体が受賞されました。

高齢者サロン南楽栄会

平成26年より第5連合区で年65回サロンを開催、高齢者のいきがいと健康維持に貢献してこられました。

ほほえみ会

平成28年より第4連合区にて、住み慣れた地域でいきいきと健康な暮らしができるように、住民同士の交流の場として楽しく体操を続けておられます。

まちなかカフェ"おいでやす"

平成29年より月1回活動を開催、歳をとっても地域の皆さんと交流し、元気で長生きできることを目的に、体操、クイズ、折り紙、歌唱をしながら、お茶を飲み、楽しいひと時を過ごされています。参加者も毎年増えているそうです。



■第4次地域づくり計画

当連合会では、5年毎に、こういった目標のもとに、どんな活動をしていくかを決める計画書を作成しています。

現在、令和7年4月から令和12年3月までの第4次地域づくり計画を作成中ですが、住民のみなさんのご意見などをもとに作っていくため、住民アンケートやご意見聴取を予定しています。

自治会長さんから、ご依頼がありましたら、ご協力よろしくお願いします。

お問合せは、当連合会(TEL64-2753)まで。

避難所設営運営体験学習会開催



車椅子避難



長浜まちなか連合自治会の統合を機に、毎年秋に開催される避難所設営運営体験学習会が、**11月4日に長浜小学校体育館で開かれました。**自治会の呼びかけに応じた皆さん160人余りが集まり、災害時に役立つ避難や救助の仕方を学びました。

6グループに分かれて、6つの体験コーナーを順番にまわり、多くの人が見る、作る、動かすといった実体験をしました。6コーナーは障害物のある場所での車椅子避難、段ボール仮設トイレの作り方、毛布と棒による担架と避難、応急手当、ロープワーク、AED（自動体外式除細動器）の扱い方。いざという時に役立つ体験ばかりです。長浜市防災危機管理局、長浜市社会福祉協議会、長浜赤十字病院、長浜消防署、長浜市消防団長浜西分団、防災ボランティアひでよし隊の皆さんに指導していただきました。



ロープワーク



AED

カルム大会 2月16日(日)開催！

ー長浜伝統のカルムを次の5年、10年につなげようー

カルム（カロム）再発見

子どもの頃にカルムという卓上ゲームを楽しんだ人も多いでしょう。地蔵盆での定番の遊びでした。彦根では、毎年6月にカロム日本選手権大会が開かれています。今年で35回を数える歴史ある大会ですが、彦根では「カロム」、長浜では「カルム」と呼んでいました。

カルムという遊びは彦根と長浜の周辺だけにしかありません。彦根にある日本カロム協会によると、明治末から大正にかけて近江に伝えられたそうです。近江八幡を本拠にキリスト教の布教に携わり、近江に名建築を残したウォーリズがアメリカから持ち込んだという説と、彦根の湖岸域に多かった北米移民の人たちが持ち帰ったという説があります。

ちなみに、30年ほど前で広辞苑に「カロム」が載っていましたが、今はなくなりました。広辞苑への「カルム」掲載を目指し、長浜まちなか地域づくり連合会主催のカルム大会を盛り上げましょう。



☆☆☆ 森のまつり開催（長浜まちなか・湯田地区合同イベント）☆☆☆

11月16日内保町ふくらの森で、森のまつりを開催しました。6月のさつまいもの植え付け、11月9日に収穫、そして、今回、森中体験学習とともに、一堂に会して、焼き芋や新米おむすびを食し、自然の幸の恵みを感じるなど、土から森までの一連の自然体験学習を行いました。長浜まちなかづくりセンターと共に、こどもDoまんなかひろばの一環で、浅井湯田地域づくり協議会、湯田まちなかづくりセンターと共催、ふくらの森ユースクラブ、長浜まちなか子ども食堂に協力いただき、楽しく有意義なひとときとなりました。あまり経験のない地域間交流も、お互いにより刺激となりました。



森中体験学習



焼き芋

☆☆☆ 11月9日こどもDoまんなかひろばに行ってきた ☆☆☆

こどもDoまんなかひろばがめざす「こどもたちの心の"居場所"となること」芽生えはあるのか？11月第2土曜日のひろばに行き、実際に参加していたこどもたちや保護者の方々に、うかがってきました。

めざすレベルの高さ故か、「めっちゃおもしろい」「今、3人しか居ないけど、4人でやるともっとおもしろい」といった素朴なこどもの声は聞けるものの、めざしているものなのか？どうなのか？なかなか判断が難しく.....

そんな中、静かに見守ってくださっていたお母さんから、「名前も知らない仲間だったけど、徐々に、ナカマになりつつあると思う」とうかがい、小さなコミュニティの芽生えが間違いなくあるのではと、今後の励みとなりました。

そこで、「継続こそ力なり！」、こどもDoまんなかひろばに、**皆さまのご協力をお願いします。**たくさんのこどもたちが、さざなみタウンで5月から開催しているひろばに集まっています。このひろばは、毎月第2土曜日に、こどもたちが自分であることを決めて、自分の時間を過ごし、それぞれの持ち味を発揮できる場づくりをめざしているものです。**こどもたちの"育ち"を応援しませんか！**

子ども食堂の食事作りや、ひろばの運営などにご協力いただける方を募集

【連絡先】 TEL.64-2753（長浜まちなか地域づくり連合会）



お料理づくり
今回はじめて！



ポケモンカード
2月に大会！

